

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹の森

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	限られたスペースを活かし、その中で利用者が楽しめるように活動内容を考えている。	以前は「狭い」という意見が時々聞かれることがあったが、このスペースだからこそ楽しんでできることを考え、今後も実行していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置数は基準を満たしていて適切である。	個別対応を要するときに、職員数が足りないと感じることがあるが、利用者の気持ちに寄り添い、支援をしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	フローリングやタイルが苦手利用者、転倒の危険があるところにはマットを敷くなどして対応している。	その他の設備については、今後、必要に応じて対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	問題や課題があるときには会議を開き、意見交換をして業務改善ができるよう努めている。	職員間の情報共有を図り、利用者にとってより良い支援方法を検討していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	過去の資料を参考にしたり、保護者の声を聞き、改善できる箇所は早めに改善を行っている。	保護者からの貴重な意見を職員間で情報共有し、より良いサービスに繋げていくにはどうしたらよいかを常に考えていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開している。	多くの方に観ていただけるよう発信していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	いつでも評価をおこなってもらえる状態にしている。	まだ、第三者評価を行っていない。今後、実施する予定になっているが、結果を真摯に受け止め改善していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	業務にあたり必要な研修を行っている。外部研修にも参加している。	研修内容を実践に活かせるように、全職員に研修報告をおこない、資質の向上を図っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	定期的にあセスメントを行い、内容を把握して計画につなげている。	全職員が共通理解できるように、支援会議で伝えていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	適切なアセスメントシートを使い状況を把握できている。	アセスメントツールを用いることで、利用者の状態を把握できるよう、丁寧におこなっていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	認知力、体幹を養うことができるように、チームで話し合っ活動プログラムを組んでいる。	活動時の反省を活かし、さらに楽しんで参加できるプログラムを提供できるよう職員間で話し合い、立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	プログラムは固定していない。活動に対する利用者の反応をみて、楽しめるプログラムを用意できるように努めている。	利用者によって好きな活動、苦手な活動があるため、利用者全員が楽しめるプログラムを提供することが課題である。しかし、少しでもできたことを認め、励まし成長に繋げていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	休日、長期休暇には、平日にはなかなかできない活動プログラムを用意し、その日の目的や約束事を明確にして支援をしている。	長期休暇だからこそ、利用者に関わる時間が増えるため、個々に応じた課題を支援していけるようにプログラムを考慮していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	利用者の意向に沿った計画を作成している。個別、集団は本人の意思に沿うものとする。	利用者によって好きな活動、苦手な活動があるため、利用者全員が楽しめるプログラムを提供することが課題である。しかし、少しでもできたことを認め、励まし成長に繋げていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前の会議での申し送り、その日の活動の目的と内容などを確認し情報共有を行っている。	長期休暇中、会議の時間が十分にとれない事があるので、情報共有の方法などを検討していく必要がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	伝えなくてはいけないことがあるときには、一日を振り返り情報を共有することはある。また、次の日の支援開始前の会議で前日の支援について確認をおこなっている。	より良い支援を安全におこなうためには職員間の情報共有が大切であるため、これからも続けていき、支援の資質向上に努めていく。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援中の様子を見て書くようにしている。さらに気になる点があればその都度記録する。検証、改善は管理者からその都度伝えられる。	その日にあった事実を客観的に正しく記入することで、記録をもとに、その後の支援につなげていけるよう努めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的に保護者と話し合いの場を設け、見直しを行っている。	保護者のモニタリング、支援会議をもとに見直しをおこなっていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	ガイドラインに基づき、利用者の自立に向け、複数の目的に応じた活動を用意し支援をおこなっている。	ガイドラインの内容を全職員が理解し、利用者の自立に向け支援をおこなっていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	管理者兼児童発達支援管理責任者が行っている。	支援会議で全職員へ情報共有し、支援計画に活かし、支援に繋げていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎時の対応について学校と話し合ったり、トラブルが発生したときには担任の先生と情報共有に努め、連携を図っている。	利用者のより良い支援をおこなう為に、今後も学校との連携に努めていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	人員配置上、医療的ケアを行えないため受入れは行っていない。	今後、必要に応じて検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在、対象となる利用者がいらっしゃらない為、今後、利用があった際には情報共有を積極的に行っていく。	今後、需要があると思われるので、連携体制を整えていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	まだ、卒業した利用者がいない。	現在、対象となる利用者がいらっしゃらない為、今後、利用があった際には情報共有を積極的に行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	現在のところ受けていないが、今後研修の機会を設けていきたい。	今後、研修に参加し、知り得たことは社内で共有するようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	慣れない環境へ行くことで不安定になる利用者もいるため、実現できていないのが現状。	今後、地域連携の1つとして、交流をおこなえるよう検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	自立支援協議会への参加はない。	地域の協議会を探し、今後のためにつながりを作っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	必ず行き、理解できるようサポート体制を築いている。送迎時は保護者に伝え、希望する利用者には連絡ノートを活用している。	今度も必要に応じて面談をおこない、保護者との情報共有をおこない、より良い支援のために信頼関係を築いていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	会社を通じて、ペアレントトレーニングの研修がおこなわれている。	今後も継続しておこなうことで、多くの保護者に参加していただけるように促していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に行っている。	保護者が不安に思う項目については詳しく説明するように心がけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	事業所内相談支援を行い、保護者の悩みを伺い、子どもの理解と支援について適切に助言できるよう努めている。	保護者の悩みを聞くことで、保護者の気持ちに寄り添い、必要な支援を提案できるよう努めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	会社の意向として父母の会は設置していない。ペアトレ等の研修、遠足での保護者交流は行っている。	遠足や夏祭り等の行事を通じて、保護者間の交流の機会がもてるよう参加を促していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情がある時は、北方支店の3事業所管理者が情報共有して対応している。	苦情については、すぐに状況を把握し解決に努めている。また、全職員で情報共有をし、再発防止を心がけていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月、通信「にじ」を発行している。北方支店は各事業所でも出している。	行事の内容等が伝わるように、わかりやすい内容になるよう努めている。
	35	個人情報に十分注意しているか	配慮できている。今後、司法書士による個人情報保護研修も実施する。	個人情報の扱いについて、全職員が注意していくよう努めていく。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	個々に応じた配慮ができています。	個々に応じた伝達方法の工夫に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所に招待する、ことはできていないが、地域清掃等を活動の一環としておこなっている。	引き続き、地域清掃をおこなっていくと共に、地域の方と交流できる活動を検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	職員には周知している。	異動した職員や新規職員を含め再度周知していく。保護者に対しても必要なことは周知できるようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に訓練を行っている。	消防署や警察署の方に協力していただき、訓練をおこなっている。危険認知トレーニングの一環で、活動としておこなうことも検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	既存の職員、新入社員は、司法書士による虐待防止研修（基礎・実践）を受講している。	研修の他、毎月、職員行動基準個人チェックリストを記入することで、自分の行動について振り返ることができている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	会社の方針として身体拘束は行っていない。万が一そのようなことがある場合は計画に記載する。	今後必要時には、説明責任を果たし、支援計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントを行い、保護者より直接伺っている。	保護者からの情報を職員間で情報共有するよう心がけている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	職員で共有するようにしている。	職員間で情報共有することで、何が問題だったのかを全職員で考え、再発防止に努めている。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹の森

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	■ はい	■ いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	4	100%	0%
	2 職員の配置数は適切であるか	4	0	4	100%	0%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	4	100%	0%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	4	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	4	100%	0%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	4	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	4	0%	100%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	4	100%	0%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	4	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	4	100%	0%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	4	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	4	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	4	100%	0%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	4	100%	0%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	4	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	4	100%	0%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	4	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	4	100%	0%
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	0	4	100%	0%	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	4	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	4	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	0	4	100%	0%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	4	4	0%	100%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	4	100%	0%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	4	100%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	4	100%	0%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	4	4	0%	100%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	4	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	4	100%	0%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	4	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	4	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	4	100%	0%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	4	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	4	100%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	4	0	4	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	4	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	4	100%	0%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	4	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	4	100%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	4	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	4	100%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	4	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	4	100%	0%